

第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会  
効率的・効果的な実施方法等に関するワーキング・グループ  
開催要綱（案）

## 1. 目的

「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の検討事項のうち、これまでの取組の実績やその評価等を踏まえた特定健診・特定保健指導の効率的・効果的な実施方法等についての検討を行うため、効率的・効果的な実施方法等に関するワーキング・グループ（以下「実施方法WG」という。）を開催する。

## 2. 構成

- (1) 実施方法WGは、保険局長が関係者の参集を求め、開催する。
- (2) 実施方法WGの構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 実施方法WGに主査を置き、構成員の互選により選出する。
- (4) 主査は、主査代理を指名することができる。
- (5) 実施方法WGには、必要に応じて別紙に掲げる委員以外の関係者の出席を求めることができる。

## 3. 検討会の運営

- (1) 実施方法WGの議事は、別に検討会において申し合わせた場合を除き、公開とする。
- (2) 実施方法WGの庶務は、健康局健康課の協力を得て、保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室が行う。
- (3) この要綱に定めるもののほか、実施方法WGの運営に関し必要な事項は、実施方法WGの主査が定める。

効率的・効果的な実施方法等に関するワーキング・グループ 構成員（案）

（敬称略、五十音順）

1	内田 宏康	国民健康保険中央会保健福祉部長
2	河原 章	日本保健指導協会代表理事
3	小松原 祐介	健康保険組合連合会組合サポート部長（保健担当）
4	鈴木 志保子	日本栄養士会副会長
5	田口 敦子	慶應義塾大学看護医療学部教授
6	田中 ゆう子	長野県健康福祉部健康増進課長
7	津下 一代	女子栄養大学特任教授
8	中西 湖雪	社会福祉法人 聖隷福祉事業団保健事業部 保健看護管理室 室長
9	安田 剛	全国健康保険協会本部保健部長
10	古井 祐司	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授